

高千穂峰登山

趣 旨 霧島連山の霊峰（1,574m）高千穂峰に登り、自然のすばらしさや美しさ、厳しさに直接ふれることにより、自然に対する畏敬の念を育てる機会とする。

日程例

09：00 霧島自然ふれあいセンター発
 09：35 高千穂河原駐車場着（トイレ） ※ 荒天時は、えびのエコミュージアムセンターや
 09：45 高千穂河原出発 ビジターセンター等の近隣施設の見学も可能です。
 10：45 御鉢着
 10：50 御鉢発
 11：40 高千穂峰山頂着・昼食
 12：30 高千穂峰山頂発
 13：10 御鉢着
 14：00 高千穂河原着・ビジターセンター見学
 14：25 高千穂河原発
 15：00 霧島自然ふれあいセンター着

連 絡 荒天時の態度決定、登山開始時及び終了時、緊急事態発生時に連絡

危険箇所

- ・ 御鉢斜面のガレ場落石転落注意
- ・ 馬の背越え左右転落注意
- ・ 下山時の転倒注意

無線交信可能地点

高千穂河原駐車場付近及び御鉢、馬の背、高千穂峰中腹以上の地点

留意事項

- (1) 引率指導者の指示を守る。
- (2) 常に班で行動し、単独行動をしない。
- (3) 体力に応じたペースで歩行し、適宜休憩をとる。
- (4) 危険区域及び火口壁に近づかない。
- (5) 落石を起こさない。
- (6) 緊急事態が発生したら、直ちに近くの引率指導者に連絡する。
- (7) 自然を大切にする。
- (8) ゴミはすべて持ち帰る。

季節による見所等

<眺望、観察ポイント>

- ・ 御鉢や馬の背からの中岳、新燃岳、大浪池、韓国岳及び高千穂河原方向
- ・ 天の逆鉾、高千穂峰頂上からの韓国岳、御池、志布志湾、錦江湾方向

春：新緑、花（コショウノキ、シロモジ、キブシ、ミヤマシキミ、ヤマザクラ、カナクギノキ、ミヤマキリシマ等） 野鳥（エナガ、コゲラ、ウグイス、シジュウカラ等）

夏：花（コガクウツギ、キリシマグミ、ヤマボウシ、ムラサキシキブ、ノリウツギ等）、野鳥（カケス、ホトトギス・カッコウ等）

秋：高千穂河原周辺の紅葉（ヤマウルシ、ツタウルシ、ウリハダカエデ等）、花（ルツボ、ヤブレガサ、ツクシアザミ、ハリギリ、ホソバノヤマハハコ等）、鹿の鳴き声

冬：霧氷・樹氷、雪景色、雪に残された動物の足跡

歴史等 約7千年前の火山活動により生まれた円錐形の美しい火山です。天孫降臨の神話が残る山でもあり、山頂には、天の逆鉾があります。幕末に坂本龍馬が引き抜いたのはあまりにも有名な逸話です。

また、馬の背からは御鉢と呼ばれる巨大な火口が見られ、火口縁には幾層にも積み重なった造山堆積の様子をはっきりと見ることができます。

高千穂コース



ビジターセンター



登山道ガレ場（登山中）



登山道ガレ場（下山中）



御鉢火口縁 馬の背



霧島神宮元宮址



山頂・天の逆鉢